

# 海外の視点から日本の医療保険制度を学ぶ

国民健康保険事業運営研修会



府と本会共催の平成23年度国保事業運営研修会は、去る11月7日（月）、ホテルセントノーム京都で開催し、35保険者から73名が出席した。



府医療企画課の高宮課長の開会挨拶のあと、厚生労働省保険局国民健康保険課の濱谷課長が「国民健康保険制度の現状と課題」と題して講演を行った。市町村国保の現状、財政状況、広域化の状況について、また、社会保障と税の一体改革における市町村国保の財政基盤強化と都道府県単位化、短時間労働者への健康保険・厚生年金の適用、高額療養費の見直し等について説明した。

2つ目の講演は、京都外国語大学・大学院外国語学部英米語学科教授のジェフ・バーランド氏が「遠くからみた日本、近くからみた日本の医療保険制度～震災を機にいま日本人は何をすべきか～」と題して行った。海外の医療保険制度を紹介することで、日本の国民皆保険制度のすばらしさを伝えた。また、ジェフ氏によると、日本人は人の思いを感じ取る力（受信力）が優れており、コミュニケーションの場で活かしてもらいたいと述べた。



参加者からは、「日本の文化、医療保険制度の良さを再認識できた」、「受信力を大切にしていきたい」等の感想が寄せられた。

